

砂防だより



日本の春（日本平）

新年度のご挨拶	2
土砂災害防止月間	3
(砂防室ホームページ更新)	
砂防関係予算	6
土砂災害防止法の取組状況	8
インフォメーション	10
国際交流 行事予定	13
わがまちの砂防	14
(伊豆長岡町・韮山町・吉田町・御前崎市)	
新人紹介 砂防関係の主な行事	16

特集

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日～30日

がけ崩れ防災週間 6月1日～7日

平成16年度 当初予算 土砂災害防止法の取組状況

速報

「神尾」災害関連緊急地すべり対策 によりSL運行再開

特集

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日 ▶ 30日

梅雨時は、地盤がゆるみ、土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害が発生しやすくなります。

毎年6月を土砂災害防止月間として、土砂災害防止に対する県民の理解と関心を深めるため、国、県が市町村等関係機関と連携して、防災パトロールや、チラシの配布、広報車等による呼び掛け等を実施します。

土砂災害防止月間の行事予定

- 6月1～15日 急傾斜地パトロール 県内
- 2～3日 土砂災害防止推進の集い(全国大会)
砂防ボランティア全国の集い 愛媛県松山市
- 20日 砂防フェスティバル 静岡市青葉緑地
- 1～30日 平成15年度土砂災害防止に関する
絵画・ポスター・作文の入賞作品展示
県庁・土木事務所・市町村庁舎

急傾斜地パトロール

地域住民や砂防ボランティアとの協働により、崩壊防止施設の維持管理状況等、がけ崩れ危険箇所の点検パトロールを実施します。



砂防フェスティバル

静岡市青葉緑地で、砂防フェスティバルを開催します。会場では、砂防事業の紹介、絵画・ポスター・作文の入賞作品を展示し、ラジオの生中継等が行われます。皆様のご来場をお待ちしています。



土砂災害の前ぶれ現象

次のような現象を見たり聞いたら、最寄りの市町村・土木事務所まで連絡願います。

土石流



山鳴りがする



急に川の水が濁り流木が混ざる



雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり



地面にひび割れができる



斜面から水がふきだす



沢の水や井戸水が濁る

がけ崩れ



がけに亀裂ができる



がけから水がわき出している



がけから小石がバラバラと落ちる

昨年7月4日の豪雨による土砂災害

昨年7月3～4日にかけて静岡市を中心とした集中豪雨がありました。

静岡市では時間雨量113mmを記録し、各地で土石流やがけ崩れなどが発生しました。



砂防室HP **ホームページ** 更新 **土砂災害情報を満載!!**

砂防室では土砂災害から身を守るための情報の提供、砂防関係事業の理解と協力を求めるため、平成16年4月から砂防室のホームページのリニューアルを行いました。土砂災害情報を満載し、最新の情報を提供していきます。

また、県民の方々からのご意見・ご要望、土砂災害について等の問い合わせに対応できるよう連絡先を掲載しています。

アクセス方法

静岡県ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp>



組織別情報

土木部



防災・地震

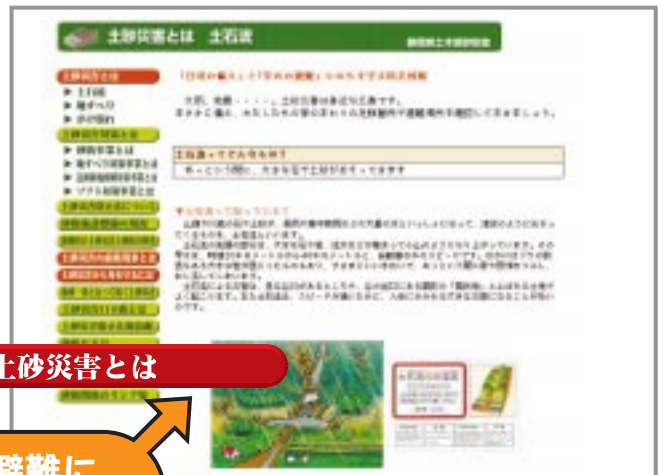
土砂災害危険箇所情報

あなたの周辺にひそむ
土砂災害の危険
土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所トップページ

5ページを参照下さい

砂防室HPトップページ



土砂災害とは

土砂災害警戒避難に必要な情報は...

土砂災害の前兆現象とは



土砂災害から身を守るには

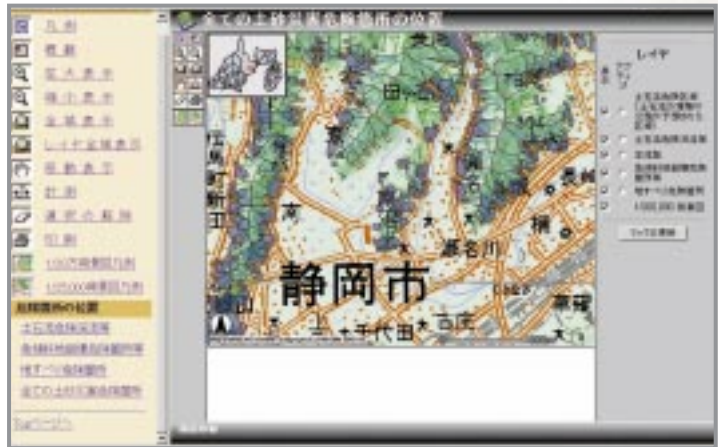


ご存知ですか？インターネットによる

静岡県土砂災害危険箇所位置情報 提供中！

静岡県では、インターネットを利用して、土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が起こる危険の高い場所（県下15,193箇所）を公開しています。平成14年7月の公開以来、アクセス件数が約5,000件を超えました。今春、国土交通省所管の調査箇所についても追加公開しました。

土砂災害危険箇所トップページ



土砂災害危険箇所表示画面

身近にある土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害危険箇所の位置を確認し、土砂災害による被害の防止に役立てることができます。

速報

大井川鉄道神尾駅付近

神尾災害関連緊急地すべり対策工事進捗状況

大井川鉄道神尾駅の金谷側斜面（金谷町神尾地内）で平成15年8月17日に発生した大規模な地すべり災害に対し、島田土木事務所では「災害関連緊急地すべり対策（渓流関連）事業」により10月に工事着手し、11月上旬からは1日昼夜3交替で崩壊面の上部から法面を安定させる工事を行ってきました。

工事は順調に進み、平成16年2月26日には軌道上の土砂の撤去が完了し、軌道との境に仮設防護柵を設置後、大井川鉄道(株)は本格的な鉄道施設の復旧工事に着手し、発生直後から一部区間で不通が続いていましたが、3月19日から全線の運転を再開しました。

対策工事は、今後も引き続き法面安定のための吹付法枠工、水路工等を施工し、早期の完了を図っていきます。



平成15年8月被災直後



平成16年3月現在

災害関連緊急地すべり対策工事の概要

- 事業費 / 897百万円（国補助率2/3）
- 事業内容 / 排土工、法枠工、アンカー工、横ボーリング工、水路工
- 被災原因 / H15.8.14～16の豪雨
 - 連続雨量 418mm
 - 時間最大 26mm

当初予算可決

砂防関係予算 108億3,945万円余

平成16年度当初予算が平成16年2月定例議会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,640億円で、前年度に比べ約130億円の減となりました。

砂防関係予算の総額は108億3,945万円余で前年度より約6億9,000万円の増となりました。(前年度当初比106.8%)
主な内訳は次のとおりです。

1 国庫補助事業 77億4,100万円 (前年度当初比107.6%)

国の補助を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」施行に伴う基礎調査等を実施します。

2 県単独事業 16億7,500万円 (前年度当初比98.4%)

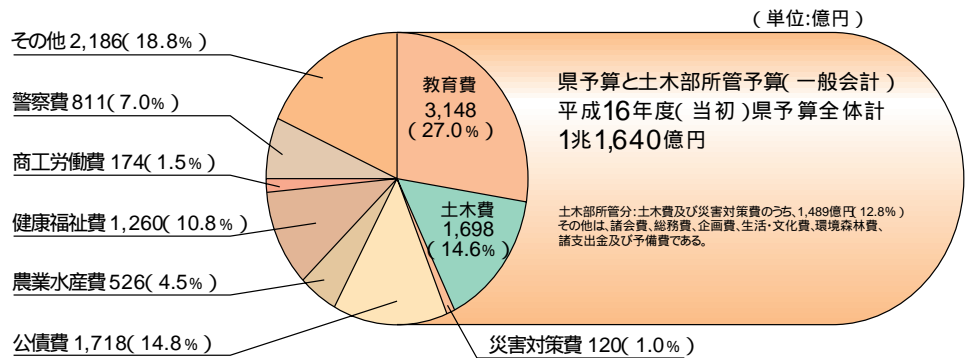
国庫補助事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、東海地震に備えて緊急輸送路関連土砂災害対策事業等を実施します。

3 国直轄事業費負担金 14億400万円 (前年度当初比113.8%)

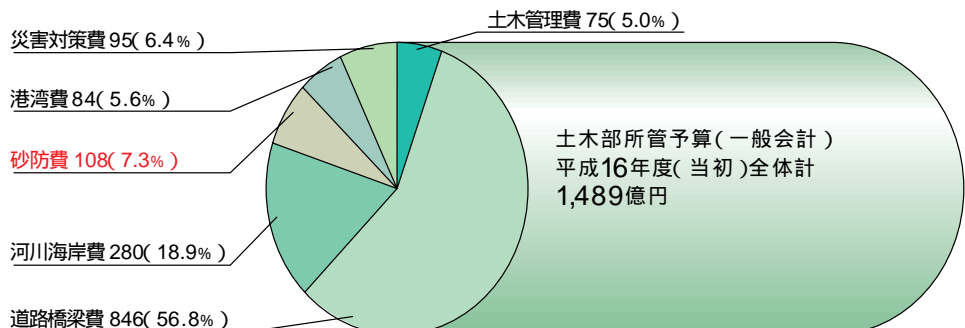
富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業に対する県負担金です。

静岡県の砂防関係予算

県予算と 土木部予算 (平成16年度当初)



土木部所管予算 (平成16年度当初)

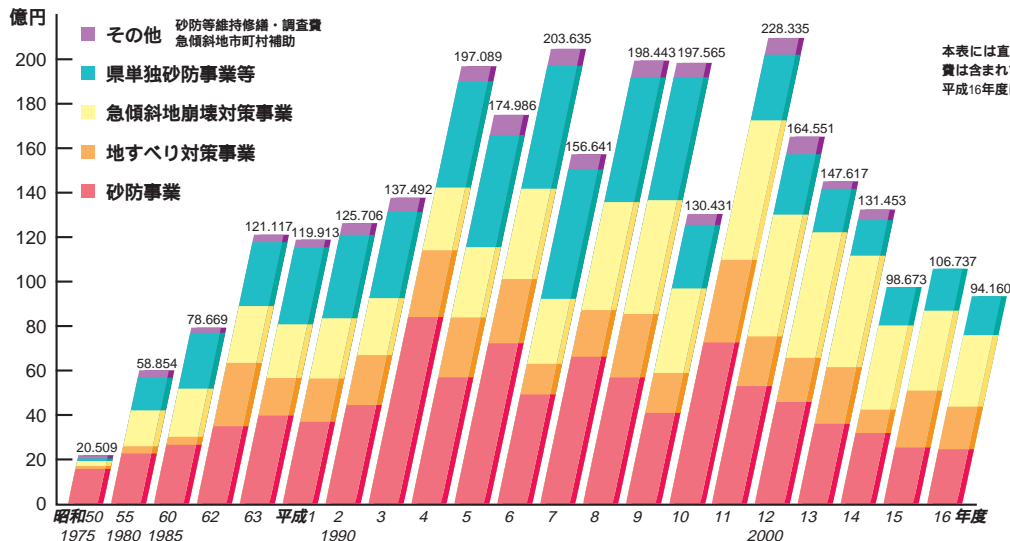


(単位:千円、%)

平成16年度砂防関係当初予算

事業名	平成16年度		平成15年度		A/C	A/D
	当初	A	当初	最終 D		
(第1目) 砂防管理費						
砂防管理費	3,457		3,457	3,457	100.0	100.0
砂防施設等環境保全事業費	16,000		14,000	14,000	114.3	114.3
グリーンベルト環境保全事業費	(6,300)		(4,760)	(4,854.5)	(132.4)	(129.8)
急傾斜地リフレッシュ事業費	(9,700)		(9,240)	(9,145.5)	(105.0)	(106.1)
計	19,457		17,457	17,457	111.5	111.5
国庫補助事業						
砂防						
通常砂防	1,018,000		1,128,000	1,062,000	90.2	95.9
通常砂防(河川等関連)	140,000		34,000	150,000	411.8	93.3
情報基盤緊急整備(砂防)	20,000		20,000	20,000	100.0	100.0
相互通報システム(砂防)	164,000		176,000	173,000	93.2	94.8
小々計	1,342,000		1,358,000	1,405,000	98.8	95.5
火山砂防	763,000		900,000	800,000	84.8	95.4
火山砂防(河川等関連)	47,000			50,000	皆増	94.0
小々計	810,000		900,000	850,000	90.0	95.3
砂防基礎調査(砂防)	120,000		120,000	126,600	100.0	94.8
小々計	2,272,000		2,378,000	2,381,600	95.5	95.4
地すべり						
地すべり対策	306,000		361,000	284,000	84.8	107.7
地すべり対策(河川等関連)	182,000		106,000	194,000	171.7	93.8
特定緊急地すべり対策			25,000	25,000	皆減	皆減
情報基盤緊急整備(地すべり)			10,000	10,000	皆減	皆減
相互通報システム(地すべり)	10,000		16,000	10,000	62.5	100.0
小々計	498,000		518,000	523,000	96.1	95.2
砂防基礎調査(地すべり)	12,000		15,000	13,500	80.0	88.9
小々計	510,000		533,000	536,500	95.7	95.1
急傾斜						
急傾斜地崩壊対策	3,163,000		3,191,000	3,359,400	99.1	94.2
急傾斜地崩壊対策(河川等関連)	106,000		102,000	114,000	103.9	93.0
情報基盤緊急整備(急傾斜)			20,000	20,000	皆減	皆減
相互通報システム(急傾斜)	22,000		24,000	24,000	91.7	91.7
小々計	3,291,000		3,337,000	3,517,400	98.6	93.6
急傾斜地基礎調査	24,000		18,000	18,000	133.3	133.3
小々計	3,315,000		3,355,000	3,535,400	98.8	93.8
防関係通常国庫補助事業	6,097,000		6,266,000	6,453,500	97.3	94.5
東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	130,000		130,000	130,000	100.0	100.0
災害関連						
災害関連緊急砂防	75,000		39,000	90,000	192.3	83.3
災害関連緊急地すべり対策	1,350,000		708,000	1,933,000	190.7	69.8
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	89,000		53,000	165,200	167.9	53.9
小々計	1,514,000		800,000	2,188,200	189.3	69.2
区分						
砂防	2,173,000		2,231,000	2,282,003	97.4	95.2
地すべり対策	1,838,000		1,200,000	2,436,000	153.2	75.5
急傾斜地崩壊対策	3,358,000		3,346,000	3,638,600	100.4	92.3
総合土砂災害対策(ソフト)	372,000		419,000	415,100	88.8	89.6
国庫補助事業計	7,741,000		7,196,000	8,771,703	107.6	88.2
県単独事業						
生活環境整備						
通常砂防	380,500		380,500	415,500	100.0	91.6
地すべり対策	31,000		31,000	51,000	100.0	60.8
急傾斜地崩壊対策	441,000		428,000	573,000	103.0	77.0
災害緊急整備(地すべり)	50,000		50,000	50,000	100.0	100.0
緊急輸送路関連土砂災害対策	60,000		60,000	60,000	100.0	100.0
地すべり対策	(15,000)		(15,000)	(15,000)	(100.0)	(100.0)
急傾斜地崩壊対策	(45,000)		(45,000)	(45,000)	(100.0)	(100.0)
砂防等維持修繕	155,000		163,000	163,000	95.1	95.1
砂防等調査	190,500		190,500	190,500	100.0	100.0
砂防等台帳整備	13,000		13,000	13,000	100.0	100.0
小々計	1,321,000		1,316,000	1,516,000	100.4	87.1
補急傾斜						
施設整備	69,000		72,000	72,000	95.8	95.8
指定促進対策	30,000		32,000	32,000	93.8	93.8
小々計	99,000		104,000	104,000	95.2	95.2
生活環境整備事業計	1,420,000		1,420,000	1,620,000	100.0	87.7
自然災害						
砂防	111,100		123,000	123,000	90.3	90.3
地すべり対策	18,100		20,000	20,000	90.5	90.5
急傾斜地崩壊対策	125,800		139,000	139,000	90.5	90.5
小々計	255,000		282,000	282,000	90.4	90.4
区分						
砂防	491,600		503,500	538,500	97.6	91.3
地すべり対策	114,100		116,000	136,000	98.4	83.9
急傾斜地崩壊対策	710,800		716,000	861,000	99.3	82.6
その他(維持修繕・調査)	358,500		366,500	366,500	97.8	97.8
県単独事業計	1,675,000		1,702,000	1,902,000	98.4	88.1
砂防費(第2目)	9,416,000		8,898,000	10,673,703	105.8	88.2
国直轄事業費負担金(第3目)	1,404,000		1,234,000	1,473,372	113.8	95.3
砂防費(第4項)	10,839,457		10,149,457	12,164,532	106.8	89.1

砂防関係事業費の推移



土砂災害防止法の取組状況

① 土砂災害防止法指定基本計画の策定

概要

県は3月末に土砂災害防止法(平成13年4月施行)に基づき、土砂災害警戒区域等の指定を円滑に進めるため、指定の優先方針や基礎調査の実施方針等を内容とする「静岡県土砂災害防止法指定基本計画」を策定しました。

この指定基本計画は、適切かつ公平な法の運用等を図るため、平成14年9月に学識経験者等からなる「静岡県土砂災害防止法指定検討委員会」を設置し、同委員会において意見・助言を求めながら策定したものであり、今後この計画に基づいて順次区域指定を行い、総合的な土砂災害対策を進めていきます。

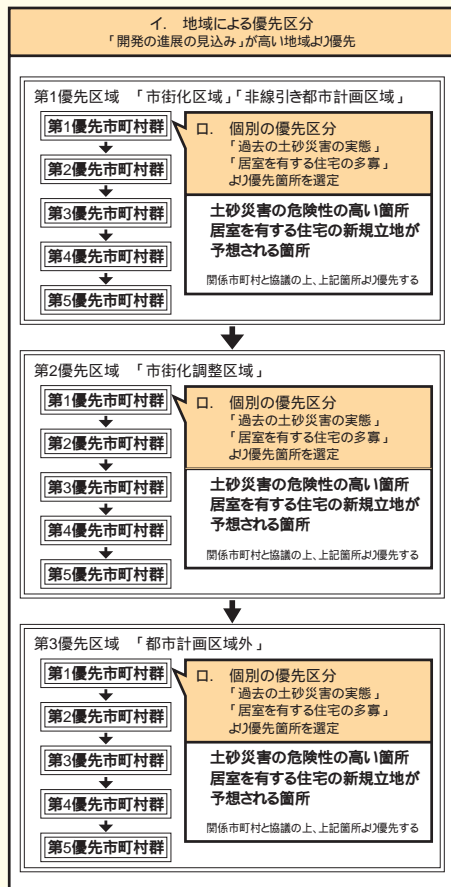
静岡県土砂災害防止法指定基本計画について

本県には、土砂災害防止法による区域指定の対象となる土砂災害危険箇所等が15,000箇所以上も存在していることから、指定の優先方針とともに、指定に係る取り組み等に関する「静岡県土砂災害防止法基本計画」を定めました。主な概要は次のとおりです。

【指定の優先方針(下図参照)】

- 新たな土砂災害危険箇所の増加抑制を図るため、開発や住宅の新規立地により市街化されやすい地域を優先します。また、市街化されやすい地域の中から、土砂災害の危険性が高い箇所や住宅の新規立地が予想される箇所を優先します。
- 優先度が低い地域でも、災害発生箇所や災害時要援護者(災害弱者)関連施設を含む箇所など、早急な対策が必要な箇所については優先して指定できるようにします。

指定の優先方針



ハ・地域における優先区分イとは別に優先できる箇所

行政界をまたぐ箇所、早急な対策が必要な箇所、早急に開発を抑制すべき箇所等で、市町村長が必要と認める箇所、災害時要援護者関連施設を含む箇所、災害発生箇所、早急な対策が必要とされる箇所

【基礎調査実施方針】

- 対象は原則として県内の土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所とします。

【指定手続方針】

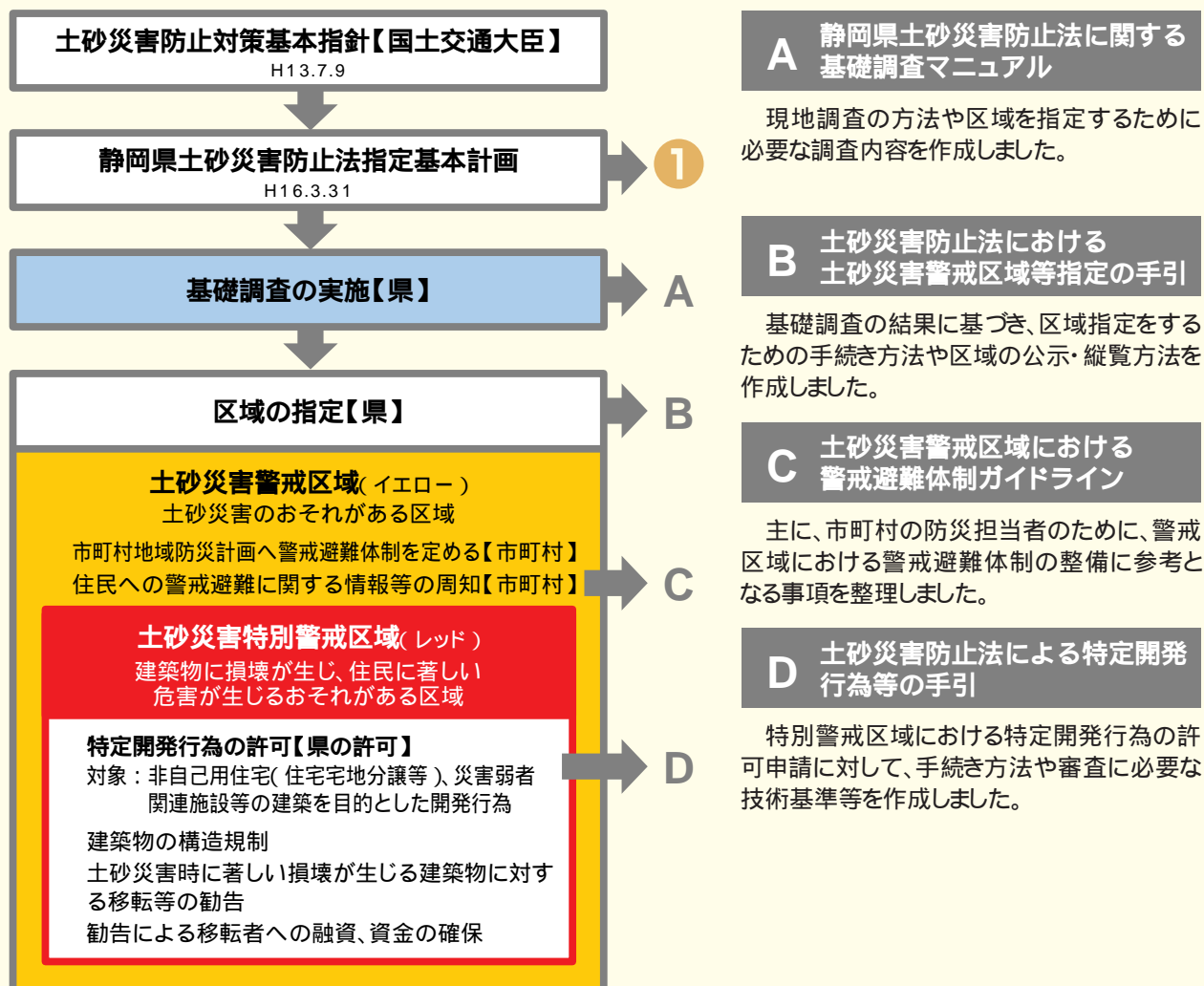
- 指定区域の公示は平面図によるものとし、平面図の縮尺は1/2,500以上とします。
- 指定区域の範囲等の指定図書は該当する市町村で縦覧します。

【指定手続における住民等への周知・説明方針】

- 広く県民に対し土砂災害防止法の一般的な周知を行います。
- 基礎調査着手前、土砂災害警戒区域等の指定前に、関係する住民等に説明を行います。
- 指定にあたっては関係する住民等の理解を得よう努めます。
- 指定にあたっては関係する市町村長の意見を聴取します。

② 手引き・ガイドライン等の整備

平成15年度には、土砂災害防止法による区域指定及び指定後の運用を円滑に進めるため、県や市町村の担当者等のための各種手引類・ガイドラインを作成しました。



③ 現在までの取組状況

「静岡県土砂災害防止法指定基本計画」の優先方針に従い、平成16年3月末までに、240箇所で開催調査を実施しました。平成16年度には「指定実施計画」を作成し、基礎調査を実施した箇所から順次区域の指定を進めていきます。

今後も、土砂災害から身を守り、安全な地域づくりを目指して、地域の皆様と共に取り組んでいきます。

	土石流 危険渓流等	地すべり 危険箇所等	急傾斜地崩壊 危険箇所等	合計
土砂災害危険箇所等	4,247渓流	183箇所	10,763箇所	15,193箇所
基礎調査実施箇所(H16.3未現在)	75渓流	6箇所	159箇所	240箇所

第5回「静岡県土砂災害防止法指定検討委員会」の開催

平成16年2月12日に、静岡市内で第5回(平成15年度第2回)「静岡県土砂災害防止法指定検討委員会」を開催しました。

今回の委員会では、前回(H15.10.24)における意見を参考に修正した「静岡県土砂災害防止法指定基本計画」の最終案について検討を行うとともに、今後の具体的な指定方法やモデル箇所における指定に向けた取り組み状況の紹介を行いました。

基本計画については、前頁で紹介したとおり、委員の皆様からの貴重なご意見により、より良い計画を策定することができました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



第5回委員会(静岡市)

平成15年度土砂災害防止法講演会の開催



講演会の様子

平成16年2月18日に、静岡市内で「平成15年度土砂災害防止法講演会」(主催:静岡県、後援:全国治水砂防協会静岡県支部)を開催しました。

講師に国土交通省砂防管理室の岩崎専門調査官、広島県砂防室の後藤主査、広島市河川課の萬ヶ原主任をお迎えし、国・県・市町村の砂防・防災・建築等の担当者約140名が熱心に受講しました。

大きな土砂災害を幾度も経験し、土砂災害防止法の区域を全国で最初に指定した広島県の先進的な取り組み等についての講演は、大変参考になりました。学んだ知識は、地域の土砂災害防止対策に活かしていきたいと思えます。

今回お忙しい中、講師をお引き受けいただいた3氏に、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

平成15年度「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」優秀作品の表彰

平成16年3月29日に、県庁において平成15年度土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の表彰式が行われました。

土砂災害防止月間の一環として小中学生を対象に募集したところ、県内から100点、全国から5,000点を超える応募がありました。県内における地方審査と国の中央審査の結果、土砂災害防止の重要性を伝える優秀作品が選ばれました。

本県からは国土交通大臣賞をはじめ8名の入賞がありました。表彰式では、国土交通省河川局砂防部大野砂防管理室長、静岡県櫻井土木部長により、入賞された皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者と御家族の皆さん

応募状況(カッコは全国)

部 門	小学校	中学校	合 計
絵 画	26	7	33(1,254)
ポスター	23	26	49(3,223)
作 文	8	10	18(643)
合 計	57	43	100(5,120)

なお、表彰された優秀作品は紙面の関係上、次号で紹介させていただきます。

受賞者の皆さん

受賞者の皆さん			
国土交通大臣賞(作文)	富士市立岩松中学校	1年	鈴木 栄弥
国土交通省砂防部長賞(絵画)	浜松市立神久呂中学校	3年	島村 美緒
国土交通省砂防部長賞(ポスター)	藤枝市立西益津小学校	6年	伊藤 良
国土交通省砂防部長賞(作文)	富士市立富士第二小学校	4年	畑田 大翼
静岡県知事賞(ポスター)	富士宮市立大富士中学校	3年	秋山 史織
静岡県土木部長賞(絵画)	佐久間町立浦川小学校	5年	芦澤 尚史
砂防協会静岡県支部長賞(ポスター)	富士宮市立大宮小学校	4年	中村 徳亜
砂防協会静岡県支部長賞(ポスター)	沼津市立第二中学校	3年	増村 歩美

学校・学年は応募当時のものです。

都市山麓グリーンベルト事業推進ワーキング会議を静岡市で開催

平成16年2月19日に現地視察、2月20日に「第4回都市山麓グリーンベルト事業推進ワーキング会議」が静岡市内で開催されました。

この会議は、現在、国の重点事業として進めている都市山麓グリーンベルト整備事業の推進方策を模索するため、国土交通省砂防部保全課原調整官を中心に、近畿・中部地方整備局、大阪府・岐阜県・兵庫県・静岡県、関係する市、国の外郭団体が参加するもので、これまでも大東市・多治見市で開催されました。

小嶋静岡市長をはじめ静岡市関係部局の方々にも参加いただき、市街地北麓の「静岡市都市山麓グリーンベルト」のほか、生駒山系・土岐川流域グリーンベルト、有度山北麓の里山保全活動の事例紹介があり、市行政との連携、ボランティア団体との協働について議論しました。

なお、3月19日には第5回ワーキング会議が国土交通省会議室で開催され、本年度の成果としてガイドラインの作成、ホームページの開設などが話し合われました。



会議の様子

都市山麓グリーンベルト清水大内モデル地区作業会の開催



作業の様子

平成16年1月25日に、都市山麓グリーンベルト清水大内モデル地区で作業会が開催されました。高部小学校・高部東小学校の生徒や保護者、わくわく少年教室、大内自治会などから46名もの参加があり、天白沢では下草刈り、杉谷津沢ではタケノコ掘りの準備として施肥を行いました。

また、都市山麓グリーンベルト整備事業に賛同し、1月22日に発足したボランティア団体「森と水辺を育てる会」の入会申込も合わせて行われました。

4月11日、18日の日曜日には、「春の森づくり県民大作戦」(環境森林部・(社)静岡県緑化推進協会共催)の一環として、森と水辺を育てる会主催によるタケノコ掘りが行われました。

静岡県砂防ボランティア協会総会の開催

平成16年2月4日に、平成15年度静岡県砂防ボランティア協会の総会が静岡市内で開催されました。総会では、長川会長をはじめ会員34名の出席の中、事務局より平成15年度活動状況報告、平成16年度活動計画(案)などの説明があり、承認されました。特に、昨年6月に静岡県で開催された「砂防ボランティア全国の集い」では、会場の準備等で多くの会員の皆様の協力により、大会を無事終えることができたことも報告されました。

また、役員改選の結果、平成16年度の会長に森下会員、副会長に棚田会員が選出されました。なお、新会員として4名が入会され、総勢55名の組織となりました。



総会の様子

由比防災整備検討委員会の開催



委員会の様子

静岡県で地すべり対策工事を実施している「西倉沢」地区から西側、薩埵トンネル付近までの斜面には未対策区間(約1.8km)があり、近年擁壁の亀裂等変状が見受けられ、斜面の直下には、日本の大動脈(東名高速道路・国道1号・JR東海道本線)が並走しており、非常に重要な地域であることから、平成15年から国(静岡国道事務所)と県が有識者からなる「由比防災整備検討委員会」を設置し、対策等を検討してきました。

由比防災整備検討委員会は、第1回を平成15年1月31日に開催して以来、平成16年3月19日の第4回委員会をもって終了し、国の直轄地すべり調査により引き続き検討することとなりました。

富士山火山砂防事業連絡会の開催

平成16年1月15日に、富士砂防事務所長、静岡・山梨両県の砂防主管課長、富士土木事務所長、富士北麓・東部地域振興局都留建設部長などの出席により、「富士山火山砂防事業連絡会」が富士砂防事務所で開催されました。

この会議は、各機関が実施する富士山に関わる火山砂防事業(工事、調査、施設、PR等)の円滑な推進を図るために、設置されたもので、今後、年2回程度開催し、富士山火山砂防事業について、相互に情報を共有し、事業連携や事業調整などを図っていく予定です。



会議の様子

富士山火山・土砂災害情報システムに関する情報連絡会の開催

平成16年2月26日に、国土交通省富士砂防事務所で開催された「富士山火山・土砂災害情報システムに関する情報連絡会」が開催されました。この連絡会は、土砂災害や火山噴火に関して実際に防災情報を共有、活用することとなる機関の防災情報担当者が、防災情報を一元的に管理、共有化するための情報管理手法や共有情報の内容について、意見交換を行うために開催されました。

国土交通省で整備した富士山を1周する光ケーブルを活用して防災関係機関の監視・観測機器のデータの共有を図り、情報の一元化を目指すため、静岡・山梨両県の防災部局、砂防部局、光ケーブルの維持管理を行う国土交通省甲府国道事務所、静岡国道事務所、事務局の富士砂防事務所が連絡会の構成機関となっています。

砂防監視員講習会の開催



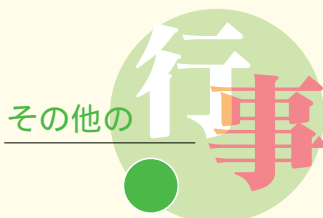
講習会の様子

平成16年3月9日に、県庁で砂防指定地等監視員を対象とした防災講習会を開催しました。

監視員の方々は県下で35名おり、日頃から砂防指定地・地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域の監視に努めていただいています。

指定区域における制限行為の内容や大雨時等における土砂災害の前兆現象等について講習を受けていただきました。

また、日頃の監視活動における疑問点等について、積極的な意見交換も行われました。今後とも、地域の土砂災害防止リーダーとして、監視活動をよろしくお願ひいたします。



- | | | | |
|-------|----|--------|------------------------------|
| 平成16年 | 1月 | 15日 | 決算検査報告説明会(東京都) |
| | | 23日 | 土砂災害に対する警戒・避難のためのゼミナール(砂防会館) |
| | 2月 | 6日 | 砂防主管課長会議(東京都) |
| | | 26日 | 土砂災害防止月間実行委員会(東京都) |
| 3月 | | 9日 | 全国地すべりがけ崩れ協議会専門部会(砂防会館) |
| | | 11~12日 | 第44回 砂防及び地すべり防止講習会(砂防会館) |
| | | 22日 | 全国地すべりがけ崩れ協議会理事会(東京都) |



JICA 研修生(イラン国)が本県を現地視察

平成16年2月12～13日に、イラン・イスラム共和国農業開発推進省Reza Mirsanei氏他1名が、県内の地すべり対策事業の現地視察に訪れました。

この視察は、国際協力事業団(JICA)により実施されている海外技術協力の一環として、2月2日から3月2日まで国内各地の地すべり対策事業実施箇所等を視察し、地すべり対策技術研修を行うもので、本県では口坂本地区、



西倉沢地すべり対策工(横ポーリング工)の視察



口坂本地すべりの概要説明

西倉沢地区の地すべり防止施設等を視察しました。

特に、地すべりの動態観測を行う観測計器や、地中の地下水を効果的に排除する地下水排除工に関心が高く、砂防室、静岡土木事務所職員と熱心な意見交換が行われました。

平成16年度の行事予定

日 程		全国治水砂防協会・静岡県支部	日 程		砂防関係研修予定
4月	27日	静岡県支部会計監査	5月	18～20日	砂防学会通常総会・研究発表会 (宮崎県)
5月	12日	全国治水砂防協会通常総会 (東京都)	5月	21日	日本地すべり学会総会・シンポジウム(新潟県)
5月	27日	静岡県支部役員会・通常総会 (静岡市)	6月	2～3日	土砂災害防止推進の集い (愛媛県)
6月	20日	砂防フェスティバルしずおか (静岡市)	8月31日～ 9月3日		日本地すべり学会研究発表会・ 現地見学会(秋田県)
8月	中旬	砂防事業の促進要望実施 (東京都)	10月		地すべりフォーラム・技術研修 成果報告会 (砂防・地すべり技術センター) (東京都)
8月	26～28日	市町村長等の砂防事業視察 (新潟県)	3月	中旬	砂防及び地すべり防止講習会 (東京都)
11月	初旬	市町村砂防担当職員研修			
11月	下旬	東海4県支部長・課長合同会議 (愛知県)			
12月	2日	全国治水砂防促進大会及び 砂防関係事業の促進要望実施 (東京都)			

がまちの砂防

伊豆長岡町

伊豆長岡町 建設観光課長 八木基之

伊豆の玄関口に位置する伊豆長岡町は、富士山と駿河湾を一望できる葛城山・発端丈山などの緑濃い山々と、狩野川のせせらぎに囲まれ、面積は東西4km、南北5.6kmと僅かに16.52km²に過ぎません。

町内には、くせのない透明感のある温泉や、情緒ある町並み、そして「湯らっくす公園」や「かつらぎ山パノラマパーク」など、さまざまな観光施設があり、また、平均気温は約15℃と温暖なうえ、いちご狩りやみかん狩りが盛んで、特に冬期間の暖かさは避寒地に最適です。



湯らっくす公園の足場



長岡田畑急傾斜地崩壊危険区域

四季を通じて首都圏、周辺都市から多くの観光客が訪れています。

さらに、本町の豊かな自然環境を象徴する源氏山周辺の温泉街には、4箇所の急傾斜地崩壊危険区域があり、平成11年度には長岡田端地区の崩壊防止工事の整備が完成し、町民が安全に暮らせるようになりました。

これからも、町民や観光客が安全に生活できる環境づくりに、各関係者のご支援を賜り、災害に強いまちづくりを目指して努力していきます。

萠山町

萠山町 建設課長 二藤武司

萠山町は、静岡県東部の伊豆半島の玄関口に位置し、東の山稜地帯は伊豆スカイラインを境に熱海市に、西の平坦地帯は田方平野を潤す狩野川によって伊豆長岡町と接し、平坦地帯は、住宅地のほか沖積層からなる肥沃な水田農耕地で、古くから「いちご」を始めとする施設園芸が盛んです。

町の歴史も古く、縄文・弥生の遺跡や鎌倉時代の源頼朝と北条氏ゆかりの地、そして江戸幕府末期まで萠山代官所の所在地として知られており、年間を通じ、数多くの観光客を迎えています。



さくら公園



皆沢急傾斜地崩壊危険区域

しかし、自然災害の歴史も古く、昭和33年の狩野川台風では未曾有の被害(死者73人)を受けて以来、現在でも数々の自然災害を受けており、近年では平成14年10月の台風21号により町内に数箇所のがけ崩れなどの土砂災害が発生しました。

幸いにして、国・県をはじめとする関係機関の皆様方のご支援により復旧がなされ、地域住民はもとより町も感謝している状況です。今後は、特に未整備箇所として残されている急傾斜地崩壊危険箇所の取り組みが急務と考え、整備に努力したいと考えています。



【お知らせ】

127号より連載を続けてまいりましたこのコーナーも、本号を持ちまして最後となりました。
各市町村の砂防担当課長の皆様には、お忙しい中ご執筆に御協力いただきまして誠にありがとうございました。
なお、次号からは新企画を計画しておりますので、お楽しみにして下さい。

吉田町

吉田町 建設課長 柳原 豊

吉田町は、南東を駿河湾、北東を大井川に囲まれ、西は榛原町、北は島田市と接している面積20.84km²の町です。

大井川の恵まれた水資源を活用し、鰻の養殖が盛んに行われていましたが、昭和44年に東名吉田インターチェンジが開設以降、その立地条件の良さから急激に都市化、工業化が進んでいます。また、夏期を中心に近隣の町へ向かう観光客の通過経路を有するなど、観光にとって有利な条件に恵まれています。

現在、町内3大イベントである凧揚げ大会、港まつり花



山の根急傾斜地崩壊危険区域



小山城まつり

火大会、小山城まつりのほか、吉田公園や海浜の活用など、魅力ある観光地づくりを進めています。

さて、当町には、急傾斜地崩壊危険区域が2箇所あり、昭和52年に指定されてから今日までに、崩落防止工事が行われました。しかし、他の危険箇所もありますので、今後も国・県をはじめ関係者の皆様のご支援を賜り、住民が安心して生活できるよう、防災意識を高め、快適な町づくりを目指したいと思います。

御前崎市 (旧浜岡町)

旧浜岡町 建設課長 伊藤寿昭

浜岡町は静岡県ほぼ中央部に位置し、南は遠州灘、北は全国一を誇る牧の原大茶園に連なる、気候温暖な町です。東海地方では唯一の中部電力浜岡原子力発電所が立地され、電源立地からの財源を活かして、町民プール「ぶるる」や町立図書館「アスパル」、総合運動場など数多くの公共施設が整備され、健康と福祉のまちづくりに取り組んでいます。

また、町の北部の山間に、ふるさと交流拠点施設として「あらさわふる里公園」がオープンしました。山間の豊かな自然を利用したピオトープエリアや体験型の交流施設



勝佐急傾斜崩壊危険区域



あらさわふる里公園

「やすらぎの炭釜」、地場産品店、多目的広場など四季を通じて大勢のお客さんと賑わっています。

さて、当町の北部山間地は100 m内外の高地が総面積の15%を占めていることから、急傾斜地崩壊危険区域も数多くあり、その内現在までに9箇所が整備され、2箇所が施工中です。

また、唐沢砂防事業が平成15年度で完了となりました。

今後も住民の土砂災害への意識の高揚を図りながら、未整備箇所の対策推進に努めて参りますので、県をはじめ関係機関の皆様のご支援をお願いいたします。